

兵庫県で採集したエンマムシの記録

沢田和宏

兵庫県のエンマムシ相については、本会の高橋寿郎氏による詳細な解説(PARNASSIUS, No.29, 1983)があり、それによると、兵庫県からは34種が記録されている。また別に、エンマムシモドキが2例(豊岡高等学校昆虫標本目録、1975及び、きべりはむし、14(2)、1986)。更にツノブトホソエンマムシが1例(きべりはむし、13(2)、1985)報告されており、現在兵庫県からは3科36種のエンマムシ類が記録されていることになる。

筆者は、1986年の9月末、赤穂市、姫路市の海浜と神戸市およびその近郊で採集を試みたところ、兵庫県からは未記録と思われる1種を含む8種のエンマムシを採集することができたので報告しておきたい。

1. *Hypocaccus asticus* Lewis ヒメハマベエンマムシ

5 exs., 姫路市海浜、26.IX.1986.

兵庫県未記録種。海浜性のエンマムシであるが、体長は2mm程で大変小さく発見しにくいためか、各地海浜に決して稀ではないのに記録を殆んど見ない種である。

体長が小さいためばかりでなく、生息場所も他の海浜性エンマムシとは異なるようで、魚の死骸や海藻クズの下からは採集されないために記録が極めて乏しいようである。

筆者の経験では、本種が生息している場所は、砂が黒っぽくて粒も小さく密な感じのする砂地で、海水の全くかかるない海浜上部の植物根際周辺で、ケシマグソコガネやスナゴミムシダマシが生息しているような環境である。

兵庫県の他の海浜でも、前述のような場所を調べれば新たな生息地が見つかると思う。

2. *Hybococcus varianns* (SCHMIDT) ハマベエンマムシ

3 exs., 赤穂市唐船サンビーチ、23.IX.1986; 1 ex., 姫路市海浜、26.IX.1986.

海浜の砂の中より採集した。兵庫県からは明石市、姫路市、西宮市それに津名郡淡路町の各海浜から記録されている。海浜性のエンマムシでは最も普通に見られる種であろう。

3. *Dendrophilus xavieri*(MARSEUL) オオマメエンマムシ

1 ex., 三木市別所町下石野、27.IX.1986.

本種は、兵庫県からは過去に城崎郡日高町から1例だけ採集例が報告されているようである。今回は鶴糞から1頭しか採取できなかったが、他の各地での採集経験では鶴糞に極く普通に産し、1度に

数10頭採集されることも珍らしくない。

4. *Carcinops pumilio* (ERICSSON) クロチビエンマムシ

3 exs., 神戸市長田区大日丘、24.IX.1986; 10exs., 三木市別所町下石野、27.IX.1986; 2 exs., 三木市別所町小林、27.IX.1986.

今回採集した3ヶ所のうち、三木市別所町小林では牛糞下から採集したが、他の2ヶ所は鶏糞からの採集である。

筆者の経験では、養鶏場に生息するエンマムシでは本種が最も普通に見られる種類であり、採集頭数は上記の通りであるが、極めて多数の個体を確認している。

神戸市長田区の山頂にあった養鶏場では、数百頭を確認しているし、一方、三木市別所町下石野には、なだらかな丘の上に大規模な養鶏場が8軒程あり、筆者はその内の1軒で採集をさせてもらったが、その1ヶ所の養鶏場だけでも数千頭の本種が発生しているのは間違いない、他の7軒の養鶏場を合わせれば恐らく数万頭の個体が発生していたものと思われる。

兵庫県からはキノコなどから採取されているようなので動・植物の腐敗物に好んで集来するようである。

5. *Merohister jekeli* (MARSEUL) エンマムシ

1 ex., 神戸市長田区大日丘、24.IX.1986; 2 exs., 三木市別所町下石野、27.IX.1986.

本種も鶏糞にはよく見られる種で、上記2例も鶏糞から得た。

6. *Atholus depistor* (MARSEUL) ムナクボエンマムシ

10exs., 三木市別所町小林、27.IX.1986.

7. *Atholus pirithus* (MARSEUL) ツヤマルエンマムシ

5 exs., 赤穂市中浜町、23.IX.1986; 14exs., 三木市別所町小林、27.IX.1986.

8. *Atholus duodecimstriatus quatuordecimstriatus* (GYLLENHAL) コツヤエンマムシ

18exs., 三木市別所町小林、27.IX.1986.

上記3種は、通常、獸糞、腐敗動物質から発見され、今回の4例も牛糞からの採集である。本県からは3種共多数の採集例があるようである。